



スマレジ

FY2023 2Q

第18期 第2四半期 決算説明資料

2022.5.1~2022.10.31

Presentation Material for Financial Results

株式会社スマレジ 証券コード: 4431

価格改定について

今まで以上にサービスの拡充・改善を実施してゆくため、運営体制の強化を目的とし、2023年1月1日より全ユーザーを対象にサービスの価格を改定いたします。

スマレジ		
主な料金プラン	旧価格 (税抜)	新価格 (税抜)
プレミアム	4,000円 →	5,000円
プレミアムプラス	7,000円 →	8,000円
フードビジネス	10,000円 →	11,000円
リテールビジネス	12,000円 →	14,000円
フードリテール	15,000円 →	17,000円

タイムカード		
主な料金プラン	旧価格 (税抜)	新価格 (税抜)
スタンダード ユーザー追加	1,000円 100円/人 →	1,100円 100円/人
プレミアム ユーザー追加	2,000円 300円/人 →	2,200円 350円/人
プレミアムプラス ユーザー追加	4,000円 400円/人 →	4,400円 450円/人
プレミアムプラス (POSセット利用) ユーザー追加	2,000円 400円/人 →	2,200円 450円/人
エンタープライズ ユーザー追加	6,000円 600円/人 →	6,600円 700円/人

※現時点では業績への影響を算定することが困難であり、業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかにお知らせいたします。

P4	2023年4月期 2Q決算概要
P14	事業の状況
P24	スマレジについて
P32	Appendix

- 堅調な事業成長により、**2Q売上高はYoY+37.5%**の26億4千万円で着地
- 連結子会社の吸収合併により1Qで法人税等調整額(益)を計上し、2Q純利益は5億6百万円で着地
- ARRは**YoY+44.1%**の33億2千万円で着地
- 積極的な採用活動と吸収合併により従業員数が**YoY+63.4%(+90人)**の増加

会社合併の影響により四半期純利益が増加、売上高はYoY+37.5%に成長
積極的なS&M投資により営業利益はYoYで低下するも、今期計画に対して61.1%の進捗

(百万円)	2023年4月期 2Q実績 (22年5月～10月)	2022年4月期 2Q実績 (21年5月～10月)	前年同期比 YoY	2023年4月期 通期計画 (22年5月～23年4月)	2023年4月期 2Q進捗率 (22年5月～10月)
売上高	2,641	1,921	+37.5%	5,593	47.2%
売上原価	1,026	702	+46.2%	—	—
売上総利益	1,615	1,218	+32.5%	—	—
販売費及び 一般管理費	1,217	786	+54.8%	—	—
営業利益	397	432	-8.0%	651	61.1%
経常利益	400	422	-5.2%	651	61.5%
四半期 (当期) 純利益	506	283	+78.5%	403	125.5%

連結子会社の吸収合併

2022年4月15日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社ロイヤルゲートを吸収合併することを決議し、2022年7月1日付で吸収合併いたしました。

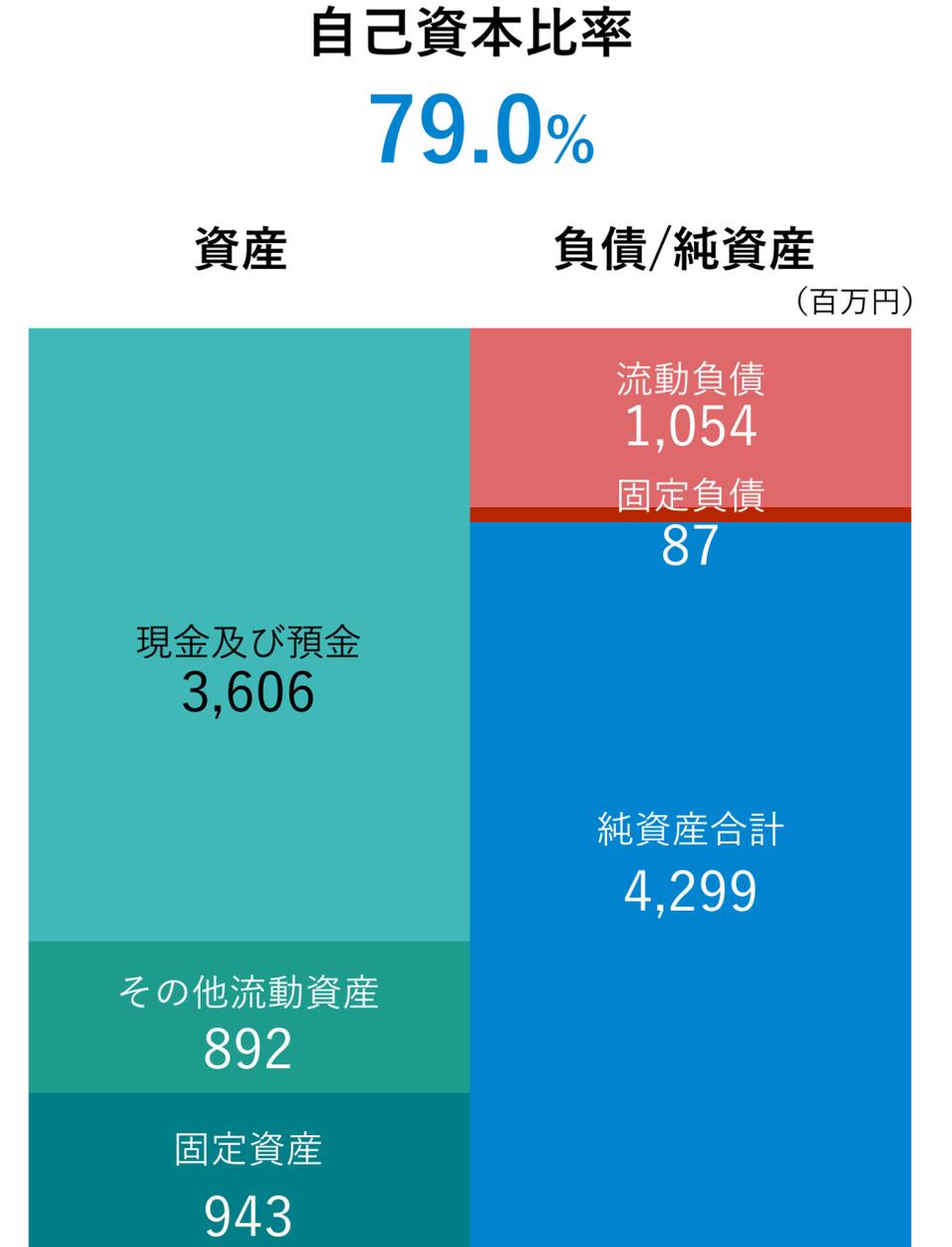
四半期純利益の増加について

- ①合併による抱合せ株式消滅差益(特別利益)の計上
- ②合併後に将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、法人税等調整額(益)を計上

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

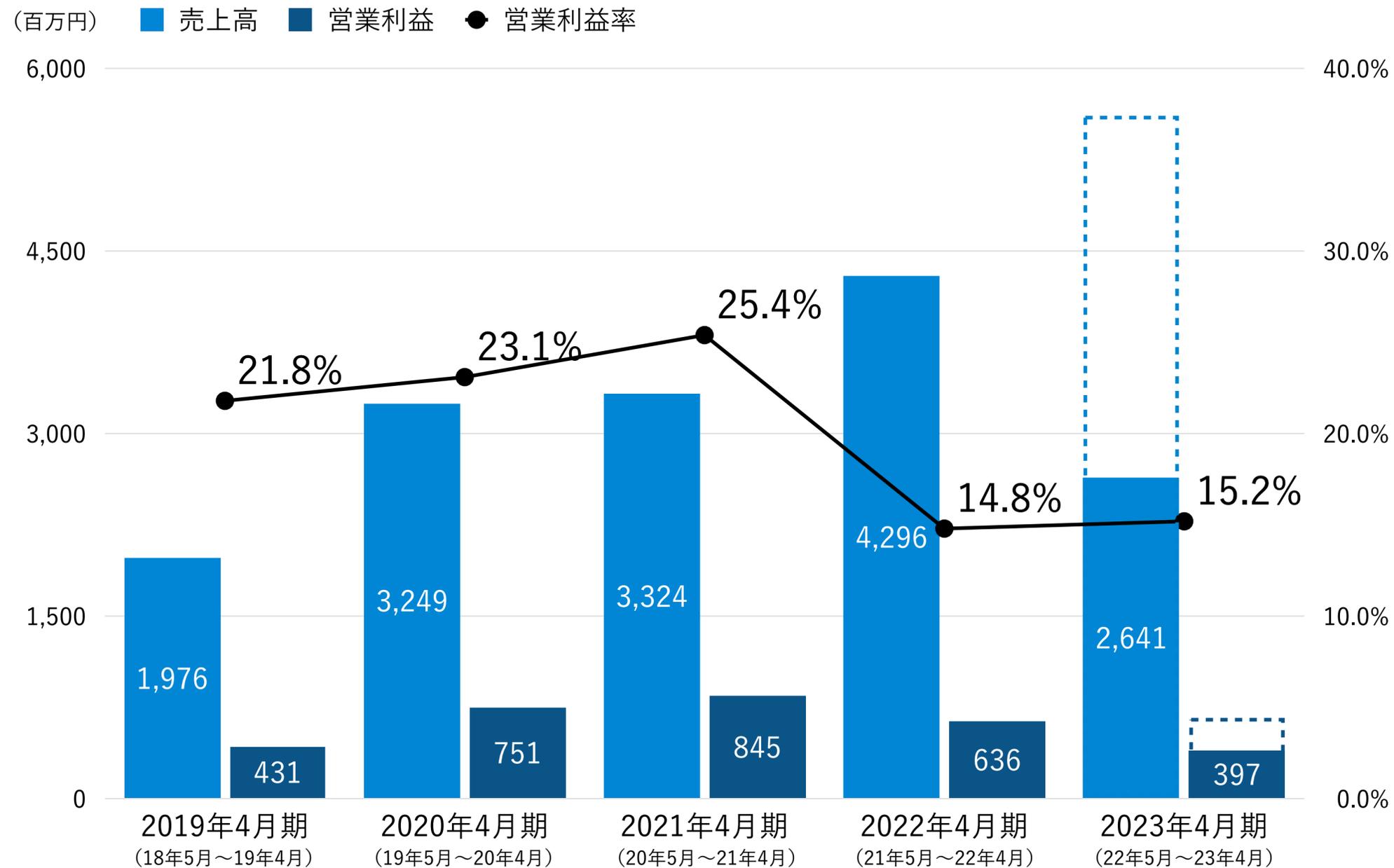
子会社の吸収合併による変動が発生し、固定資産はYoY+52.0%、流動負債はYoY+44.3%
自己資本比率は79.0%と安定した財務基盤を維持

(百万円)	2023年4月期 2Q実績 (22年5月～10月)	2022年4月期 2Q実績 (21年5月～10月)	前年同期比 YoY	2023年4月期 1Q実績 (22年5月～7月)	前四半期比 QoQ
流動資産	4,498	4,213	+6.7%	4,198	+7.1%
うち現預金	3,606	3,647	-1.1%	3,197	+12.8%
固定資産	943	620	+52.0%	892	+5.7%
資産合計	5,441	4,834	+12.6%	5,091	+6.9%
流動負債	1,054	730	+44.3%	893	+18.0%
固定負債	87	81	+7.6%	86	+1.7%
負債合計	1,141	811	+40.6%	979	+16.5%
純資産合計	4,299	4,022	+6.9%	4,111	+4.6%
負債・ 純資産合計	5,441	4,834	+12.6%	5,091	+6.9%



売上高・営業利益・営業利益率の推移

通期計画に向け23年4月期2Qの売上高進捗率は47.2%、営業利益進捗率は61.1%の進捗



2023年4月期 2Q (累計期間)

売上高進捗率

47.2%

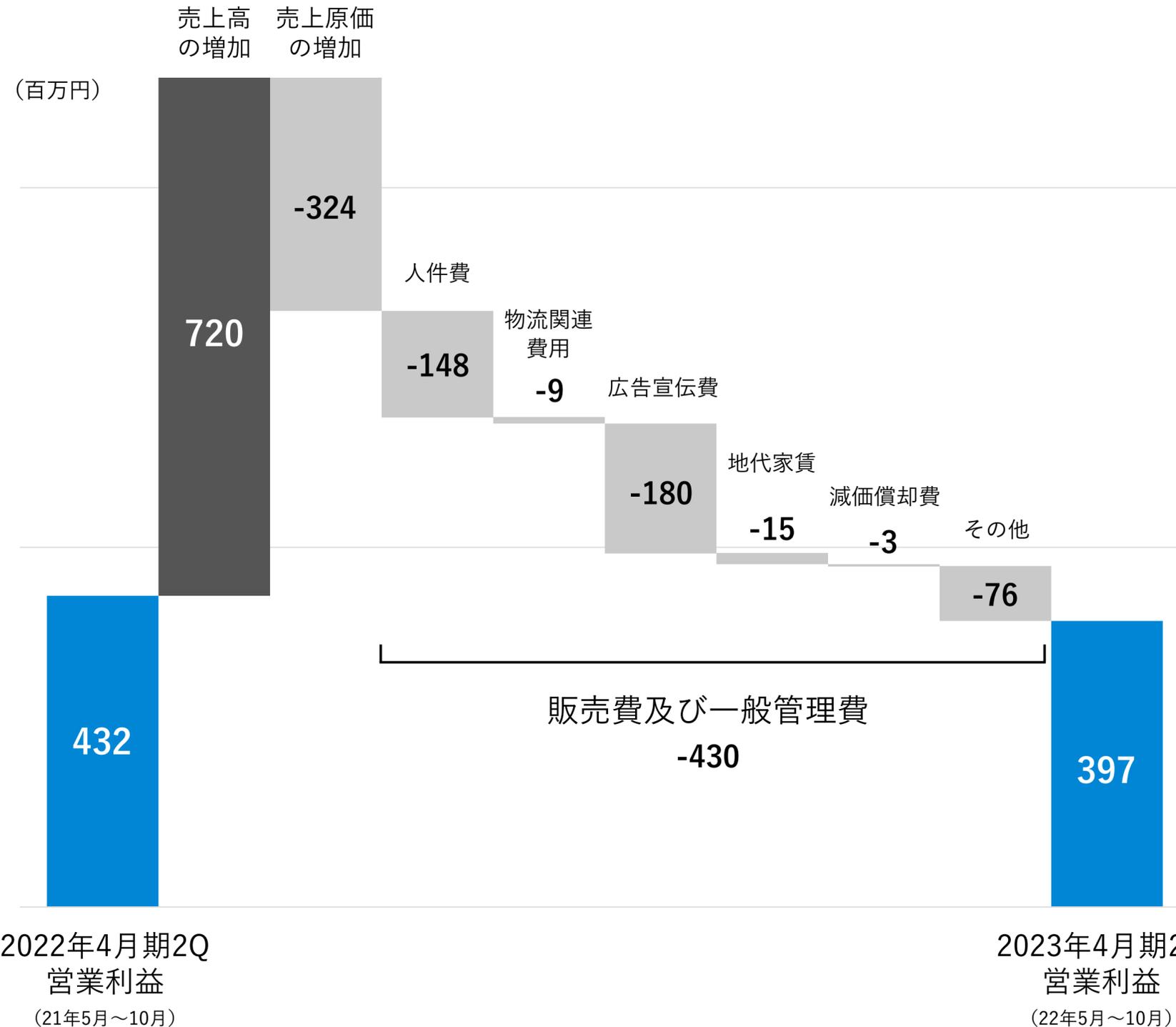
2,641 / 5,593百万円

営業利益進捗率

61.1%

397 / 651百万円

※2022年4月期4Qは連結子会社（株式会社ロイヤルゲート）の業績を含む
※2022年7月1日付で株式会社ロイヤルゲートを消滅会社とする吸収合併を実施、非連結会計に移行



売上高の増加

- 新規有料契約の増加
- 低解約率によるストック売上高の積み上げ
- 決済会社M&Aによるシナジー

売上原価の増加

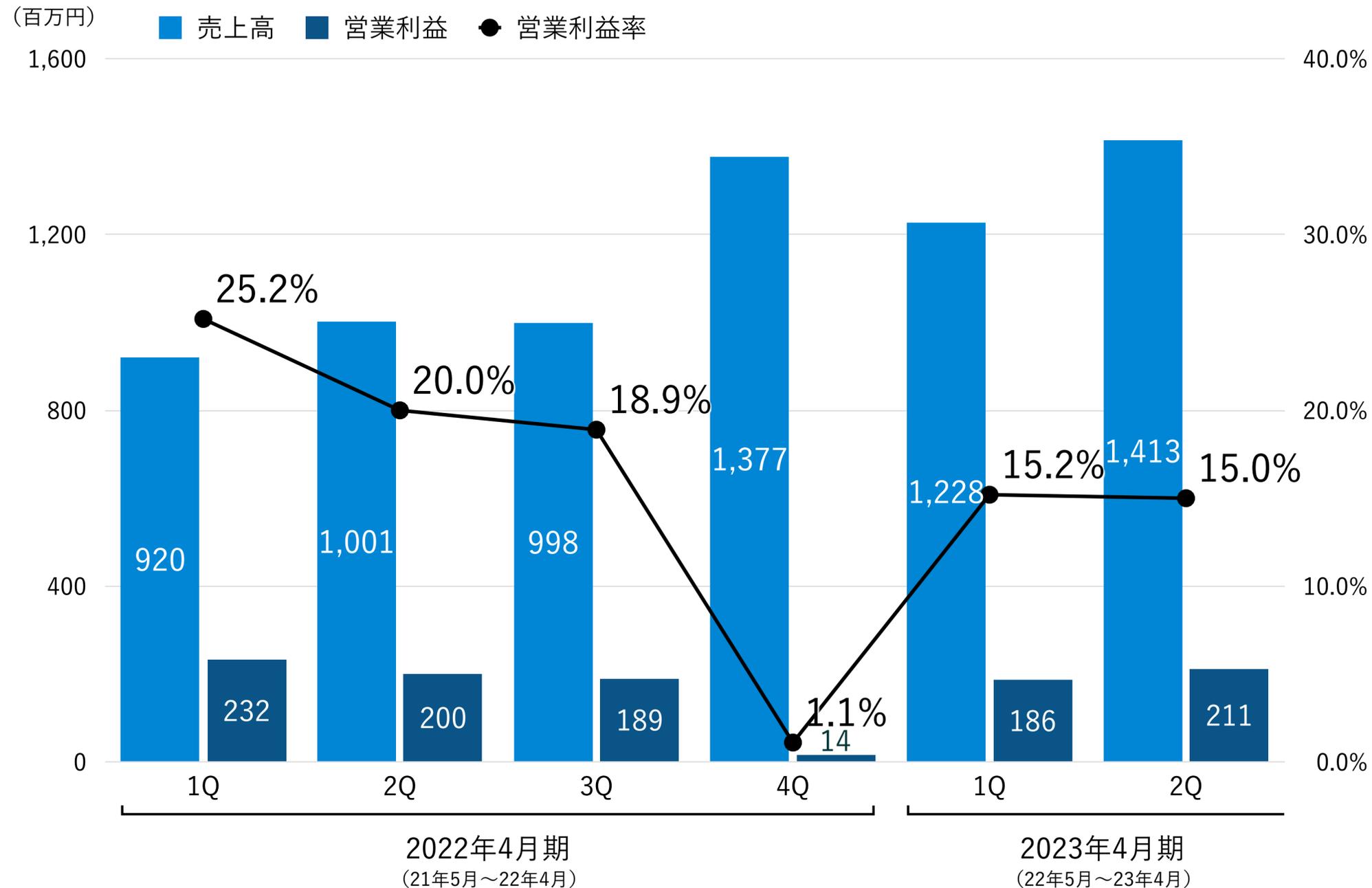
- 売上高の増加に伴う機器仕入およびサーバー費用の増加
- 決済システム運営に伴うデータセンター利用費等の増加

販売費及び一般管理費の増加

- TVCMなど積極的なマーケティング活動に伴う広告宣伝費の増加
- 従業員の増加に伴う人件費の増加
- 拠点増加による地代家賃の増加
- M&Aによるその他経費の増加

売上高・営業利益・営業利益率の四半期推移

営業利益率15%程度の水準を維持しながら中期経営計画のS&M投資を継続中



2023年4月期 2Q

営業利益率

15.0%

YoY
↓ 5.0pt

QoQ
↓ 0.2pt

※ 2022年4月期4Qは子会社(株式会社ロイヤルゲート)の業績を含む

※2023年7月1日付で株式会社ロイヤルゲートを消滅会社とする吸収合併を実施したことにより、2023年4月期1Qのロイヤルゲート(旧連結子会社)の業績寄与分は吸収合併の効力発生日である7月1日以降の1ヶ月分のみ

決済会社ロイヤルゲートのM&Aシナジーにより、サブスクリプション売上高（月額利用料等）はYoY+43.5%と大きく成長

2023年4月期 2Q

サブスクリプション
売上高比率

57.7%

初期費用粗利率

機器販売等

37.8%

QoQ

↓ 2.1pt

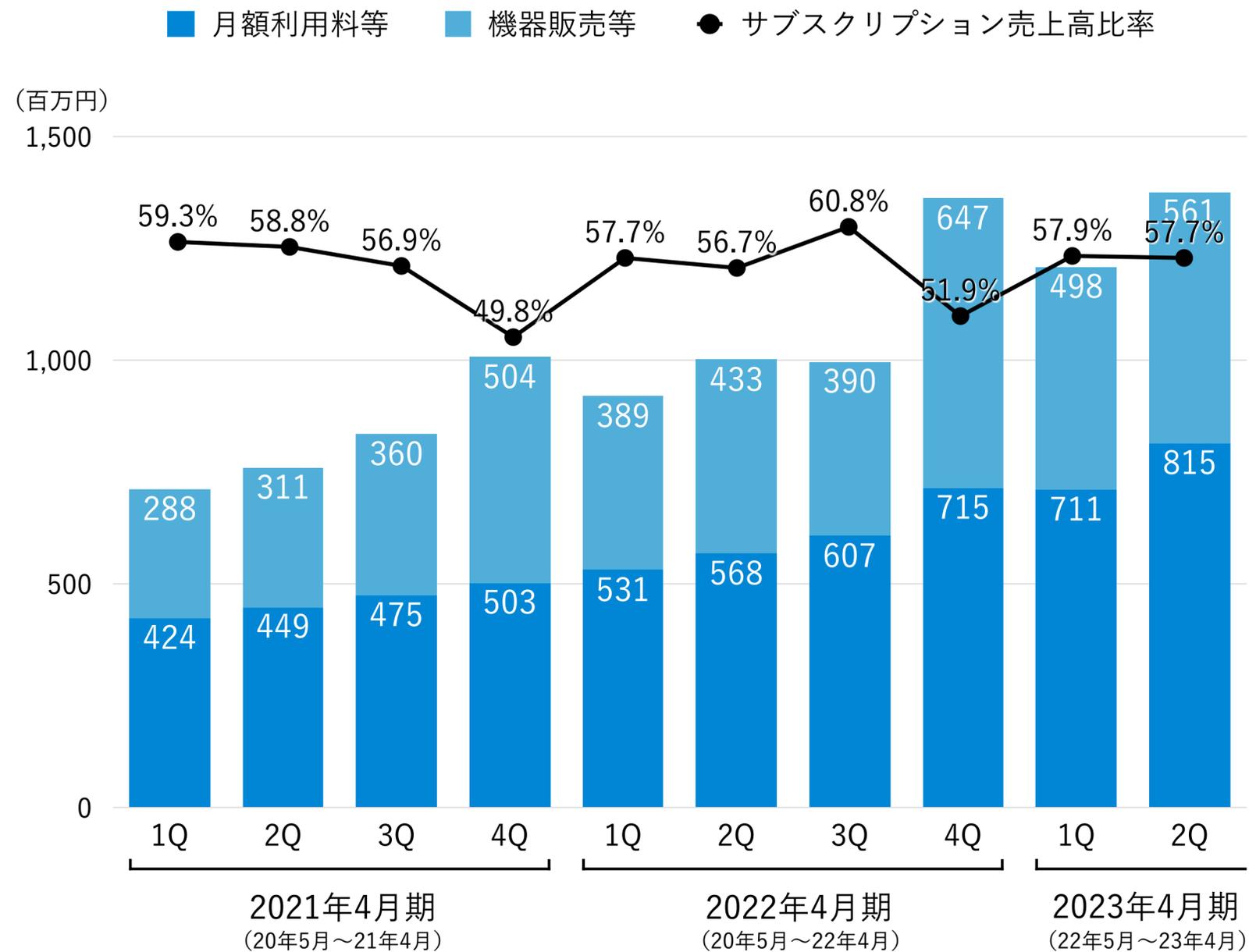
SaaS粗利率

月額利用料等

75.9%

QoQ

↓ 3.8pt



※ その他システム開発費等の売上高はグラフに含んでいません。

※2023年4月期1Qのロイヤルゲート(旧連結子会社)の業績寄与分は吸収合併の効力発生日である7月1日以降の1ヶ月分のみ

販売費及び一般管理費の推移

販管費率（44.7%）を計画範囲内でコントロールしながら、中期経営計画達成に向けたS&M投資を継続
組織の拡大に伴い、人件費が増加

2023年4月期 2Q

販売費及び
一般管理費

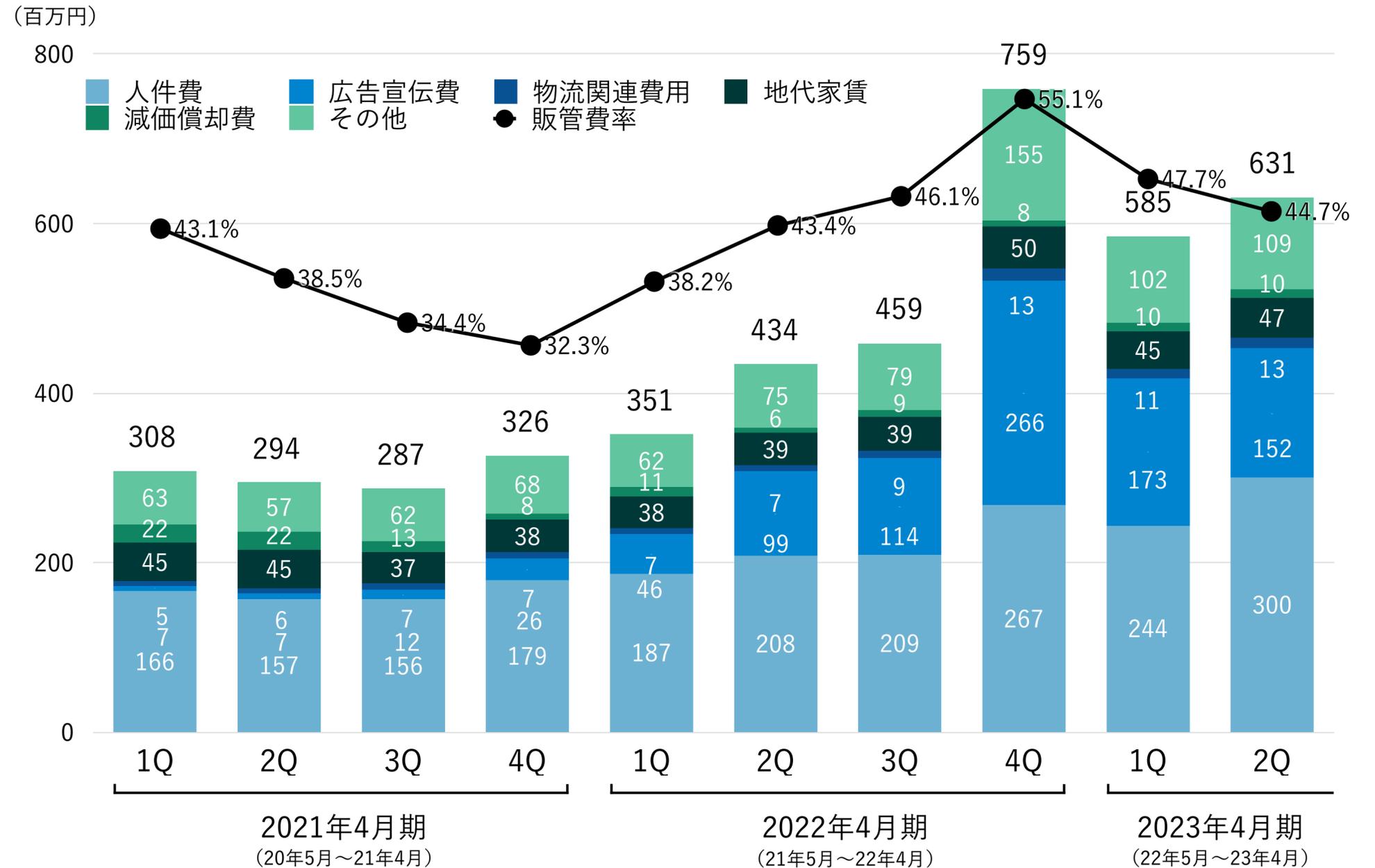
631百万円

S&M

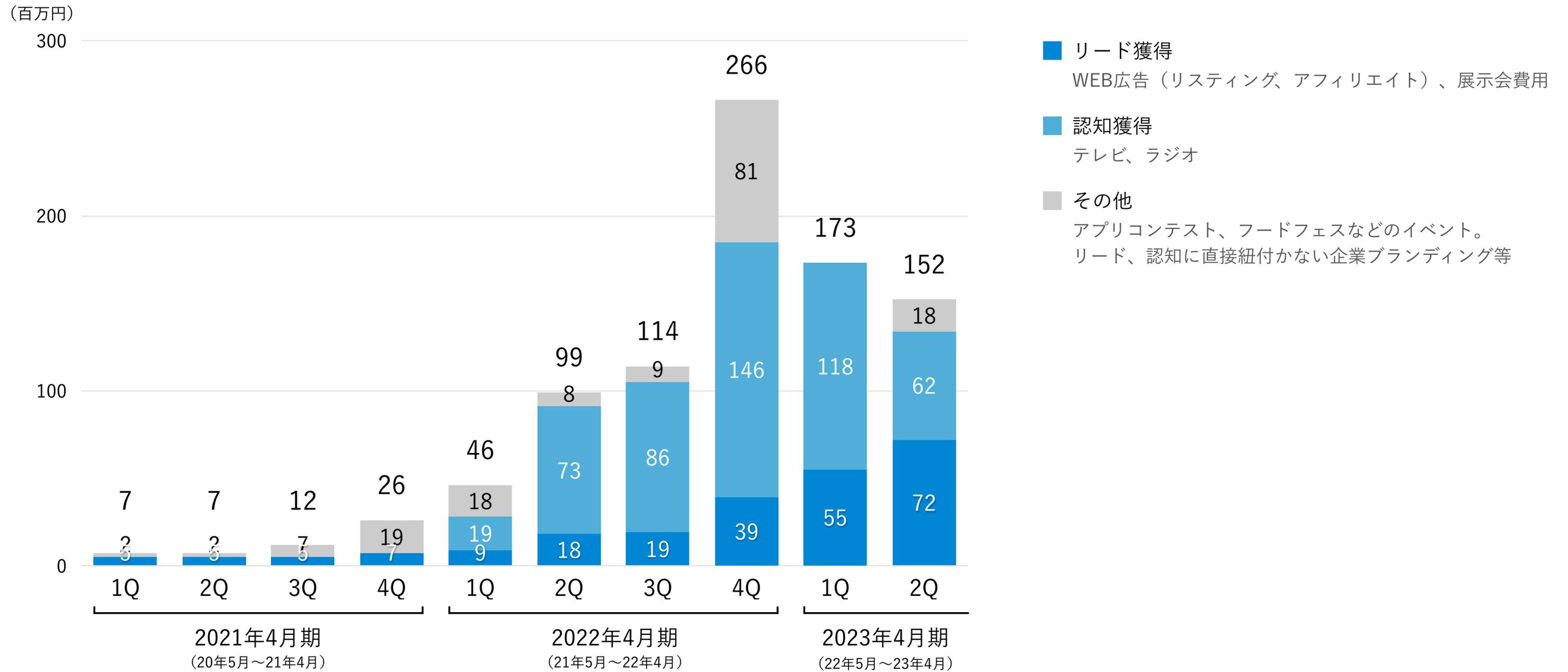
S&M比率

280百万円

19.8%

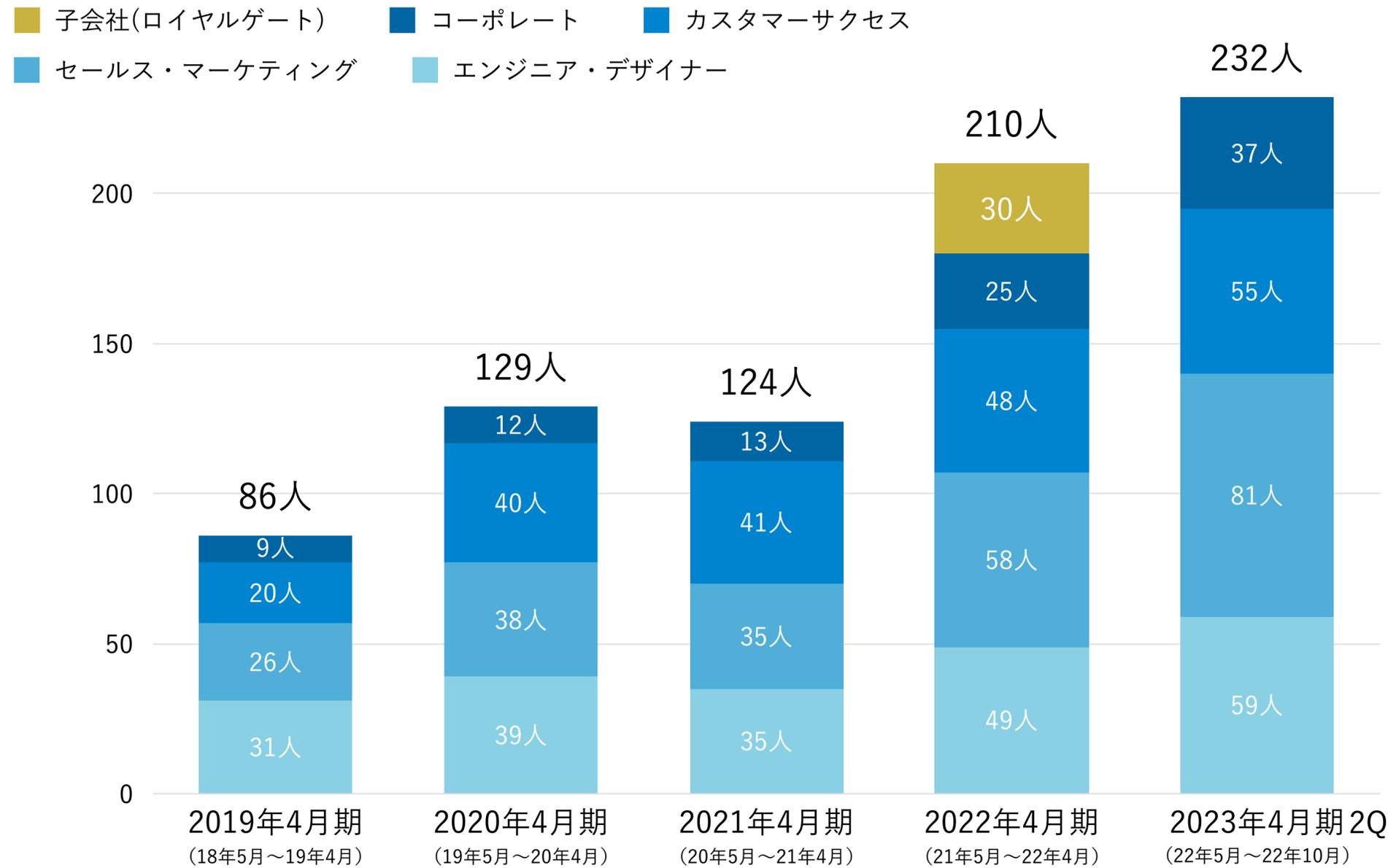


TVCM等のマス広告を活用した認知拡大とリード獲得施策を並行して実施中

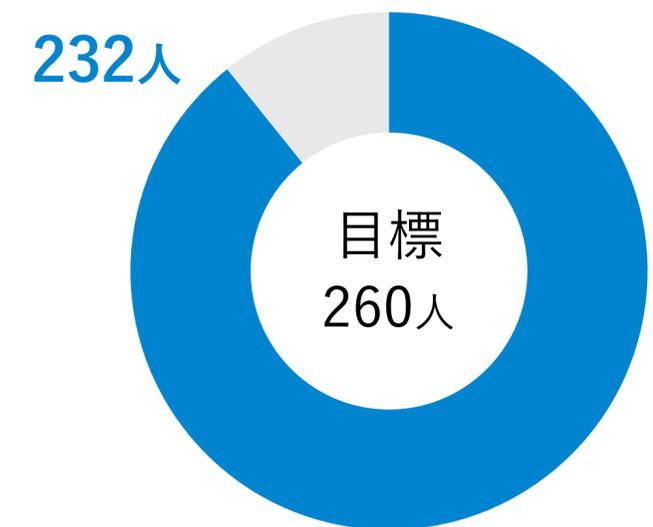


従業員数の推移

PMIにより子会社を吸収合併し、組織力を強化。前年同期比+63.4%
 2023年4月期は前期比+50名、計260名を目標に採用計画を実施中



2023年4月期
採用計画と2Q従業員数



※2022年2Q時点で142人 ※派遣社員・パートタイマー除く



事業の状況

BUSINESS SUMMARY

ARR（サブスクリプション売上高）の推移

コロナ禍においてもスマレジの有料店舗数は堅調に推移。
買収した決済サービスの成長が貢献し、ARRはYoY+44.1%

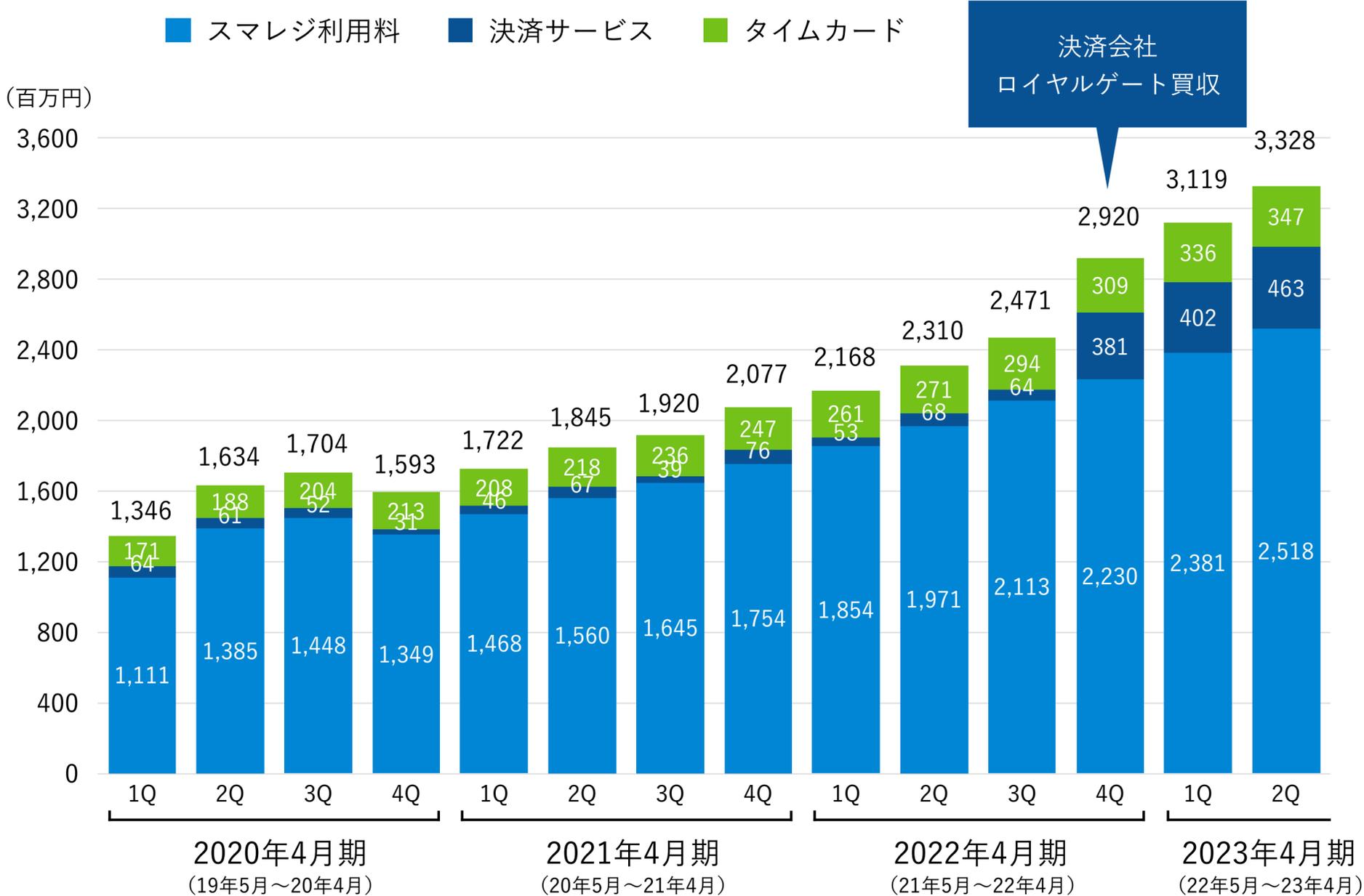
ARR※

33.2億

YoY
前年同四半期比
+44.1%

QoQ
前四半期比
+6.7%

※期末月のMRR(月額利用料等)を12倍して算出。
ARR：Annual Recurring Revenue(年間経常収益)
MRR：Monthly Recurring Revenue(月間経常収益)



スマレジ利用料：POS月額・端末追加オプション・機器サブスク・セルフレジ利用料・会員上限追加オプション、アプリマーケット
決済サービス：PAYGATE月額利用料・加盟店手数料・処理料・決済端末連携費・キックバック



- 2022.10
 - 新型コロナウイルス感染症に関する水際対策緩和 入国制限撤廃
 - スマレジのユーザーコミュニティ「#アキナイラボ」がスタート！
 - アパレル・雑貨業界向けのDX・ITの専門展「第1回 ファッション DX EXPO 秋」に出展
 - 2022年度「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業」に選定
 - アナリストカバレッジページを公開
- 2022.9
 - スマレジpresentsのフードフェス「九州オータムフェスティバル」開催
 - 和洋菓子・ベーカリー・カフェ & 飲料の業務用専門展「第10回 関西デザート・スイーツ&ベーカリー展」に出展
- 2022.8
 - スマレジ（POS）の累積取扱高が5兆円を突破！
 - ECの受注をスマレジで一元管理できる「受注管理」機能をリリース！
 - Forbes Asiaが発表した「Asia's 200 Best Under A Billion」に選出
 - 洋菓子店向けプロモーションLPを公開
 - 三菱地所と中川政七商店による学生経営×地方創生の新プロジェクト「アナザー・ジャパン」に協賛

累積取扱高が5兆円を突破！スマレジ経済圏はどんどん拡大中

GMV成長率

YoY 前年同四半期比 **+47.2%**
 QoQ 前四半期比 **+6.0%**

累積取扱高

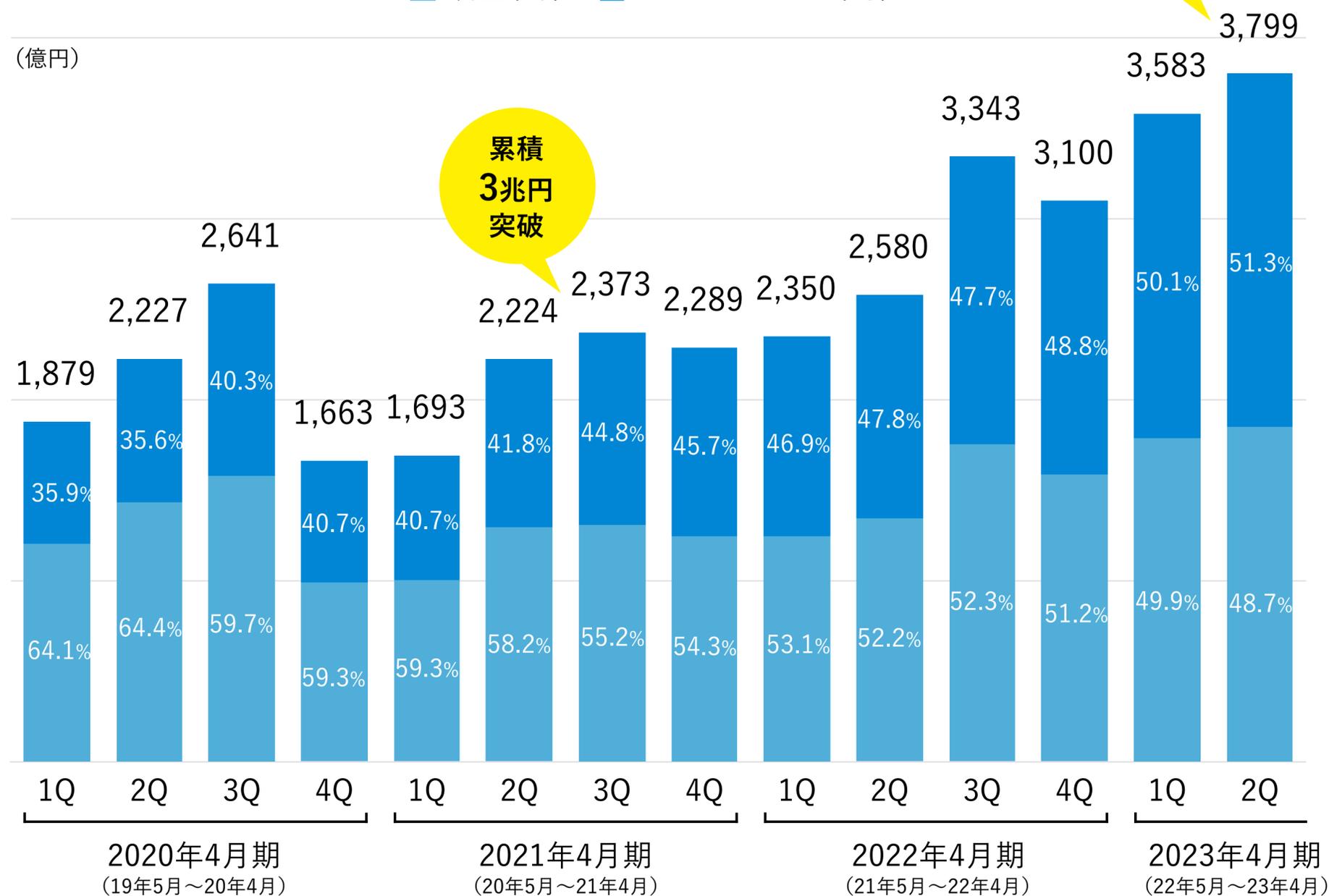
5.3兆円

(2022年10月末時点)

累積取引総額

■ 現金取引 ■ キャッシュレス取引

(億円)

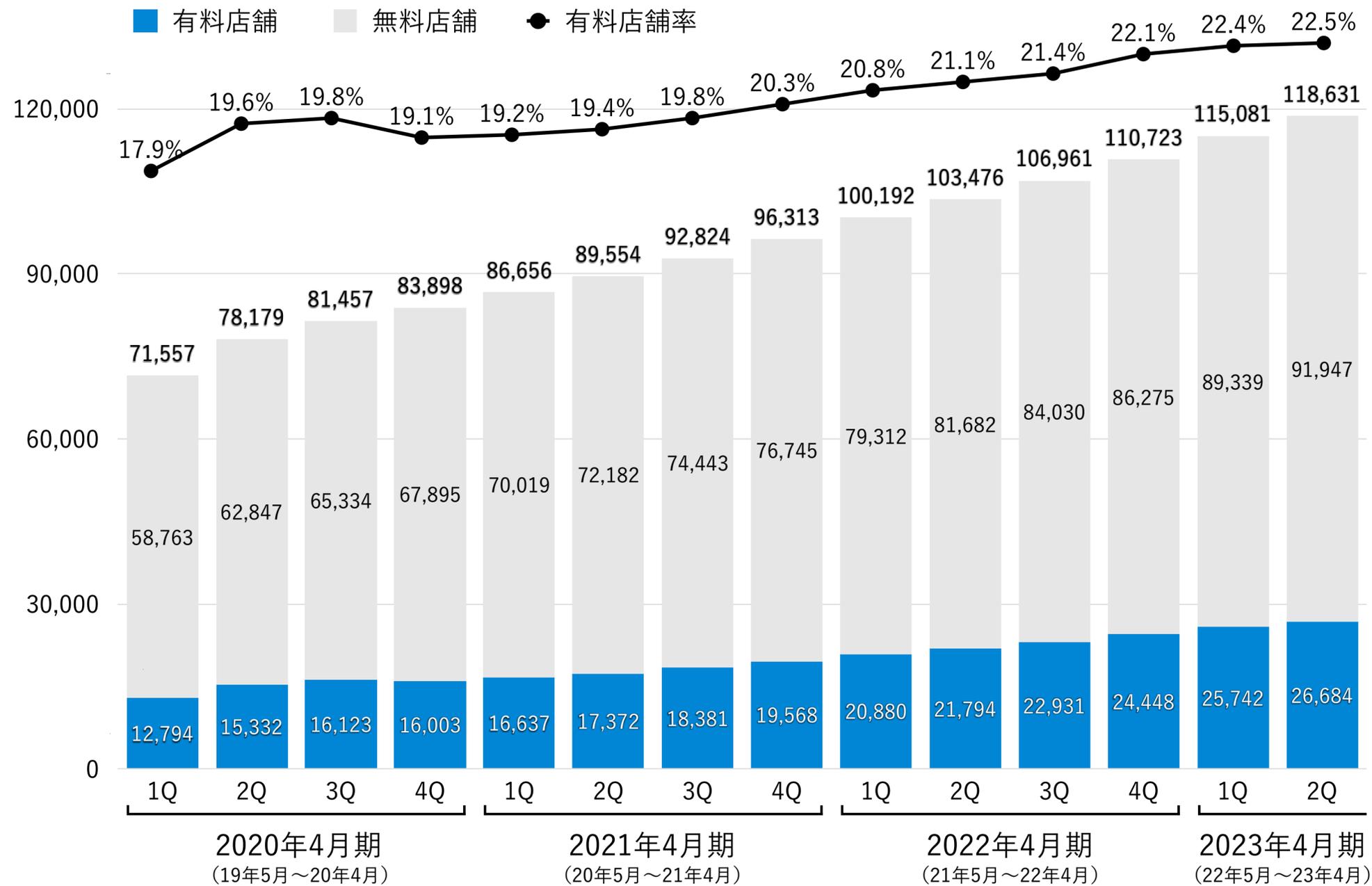


累積5兆円突破

累積3兆円突破

キャッシュレス取引：クレジットカード、電子マネー、QRコード決済、一部金券や商品券なども含まれます。

顧客基盤は継続的に拡大。有料店舗率もYoY+1.4ポイントの22.5%に上昇

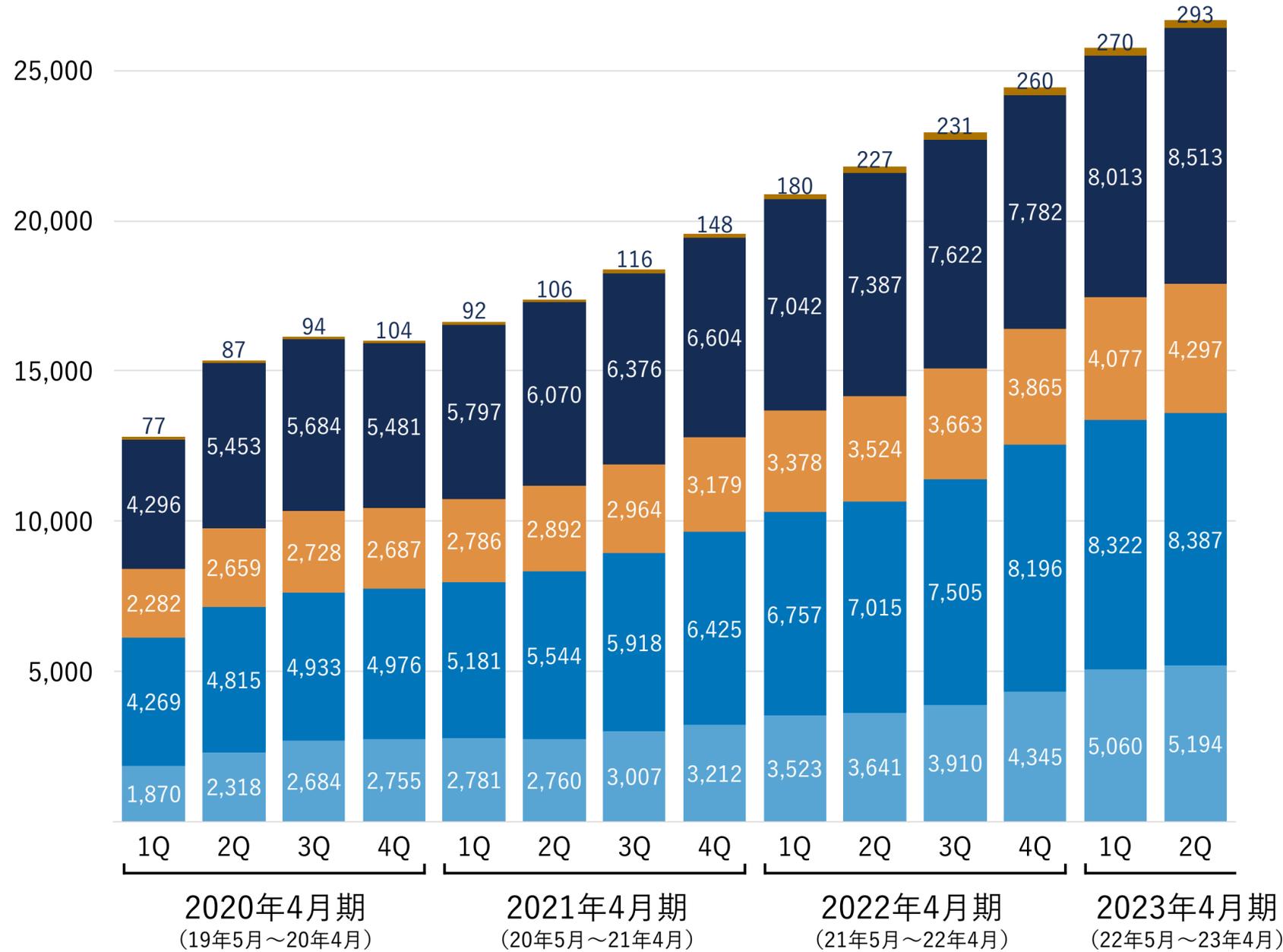


有料店舗数
26,684

YoY
前年同四半期比
+22.4%
+4,890店舗

QoQ
前四半期比
+3.7%
+942店舗

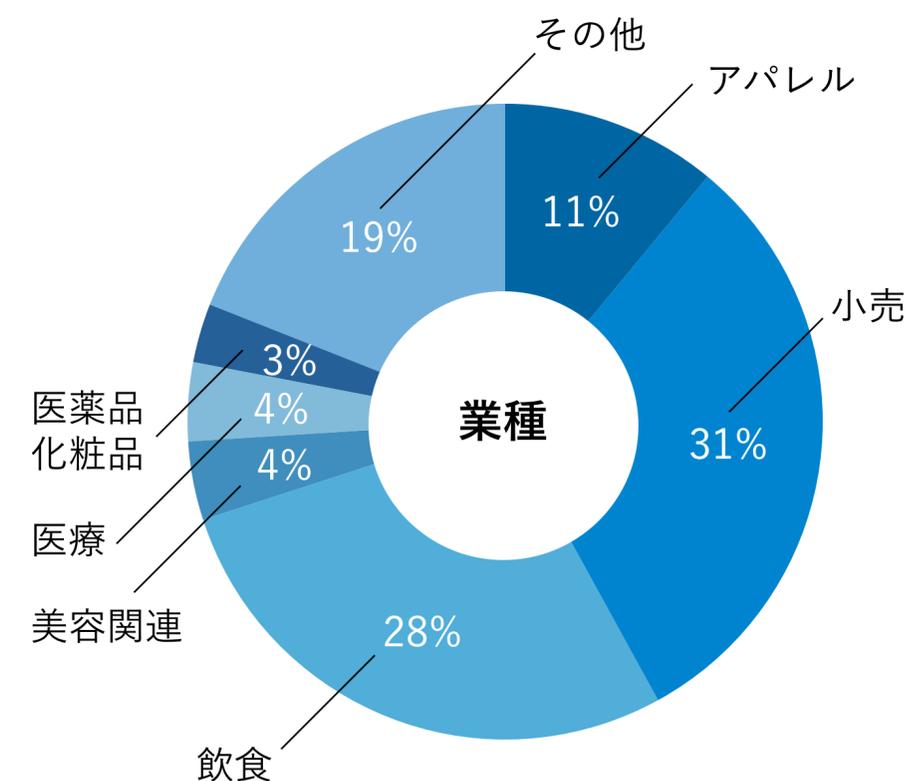
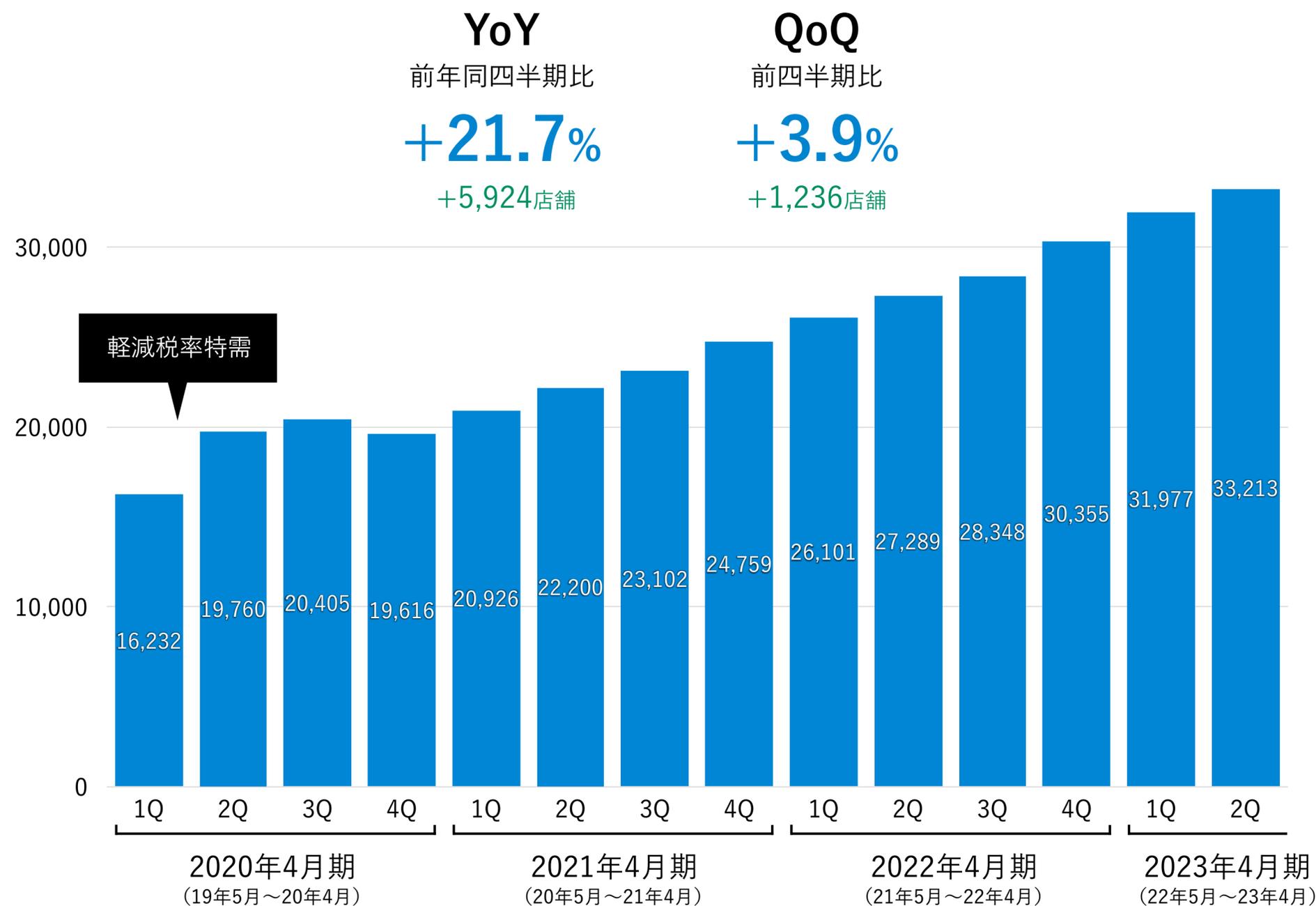
各プラン堅調に推移。小売業向けリテールビジネスプランも再び増加基調



	YoY 前年同四半期比	QoQ 前四半期比
フードリテール 月額15,000円/店	+29.1%	+8.5%
リテールビジネス 月額12,000円/店	+15.2%	+6.2%
フードビジネス 月額10,000円/店	+21.9%	+5.4%
プレミアムプラス 月額7,000円/店	+19.6%	+0.8%
プレミアム 月額4,000円/店	+42.7%	+2.6%

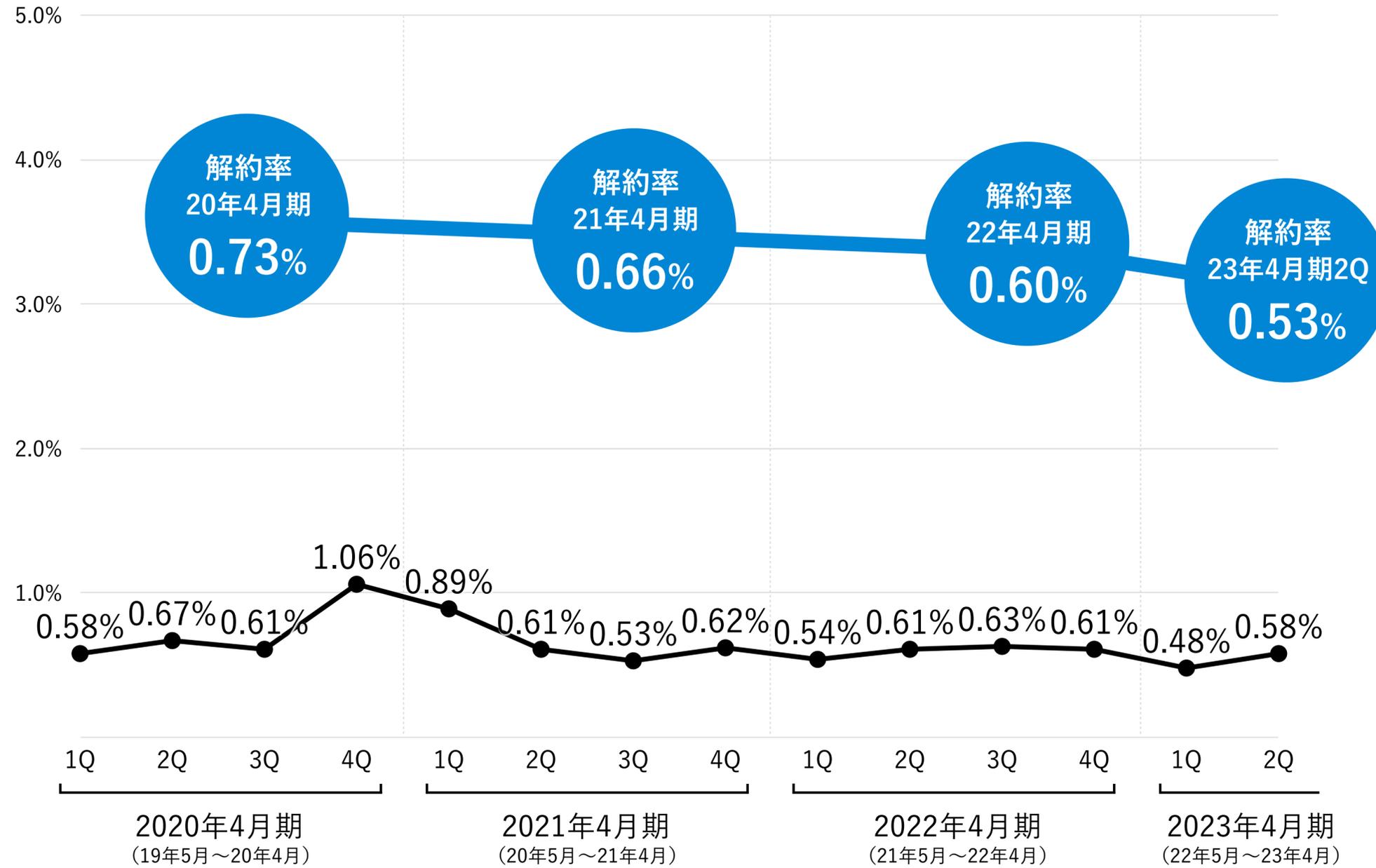
※スタンダードプラン契約にオプション追加で有料化されている場合がありますが、有料プランには含んでいません。
 ※各プラン料金は全て税抜価格です。

アクティブ店舗数30万店達成の目標に向け着実に積み上げ中



※プラン種別を問わず、POSレジ機能で直近1ヵ月の間に商取引（売上）の記録を行った店舗数。在庫管理やその他の機能を利用していても、商取引がない場合はカウントされません。

オンボーディングの強化とサービス品質の向上施策を継続
23年4月期2Qの平均解約率は低水準を維持



2023年4月期 2Q
(累計期間)
解約率

2022年5月～2022年10月

0.53%

YoY

↓ 0.05pt

QoQ

↑ 0.1pt

FY22 2Q累計解約率0.58%
(21年5月～21年10月)

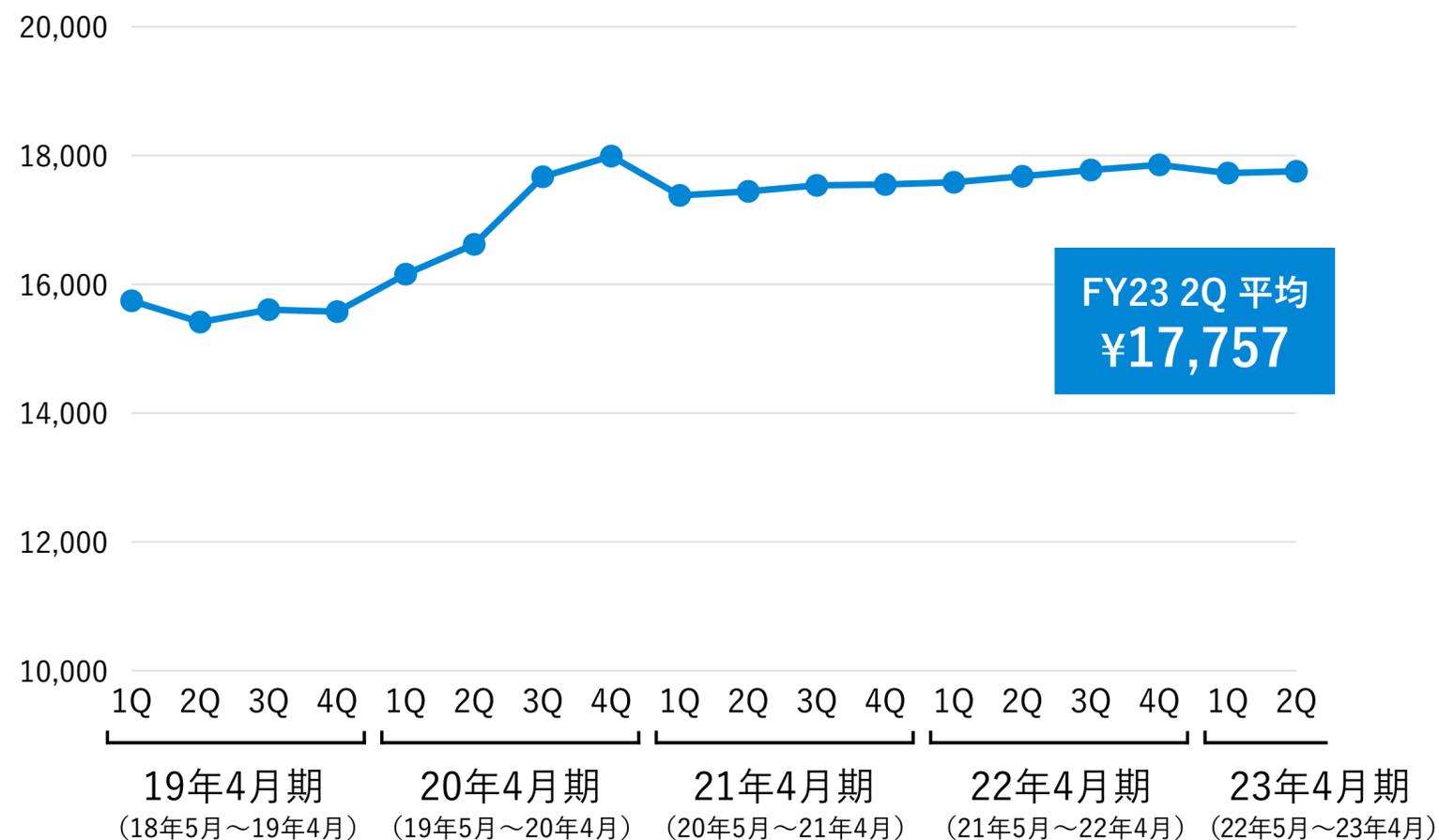
解約率：MRRチャーンレート
既存顧客の月額利用料に占める解約により減少した月額利用料の割合

ARPA、ARPUともに安定的に推移。1有料契約あたりの平均店舗数は2.33店舗

ARPA

YoY
前年同四半期比
↑ 77円

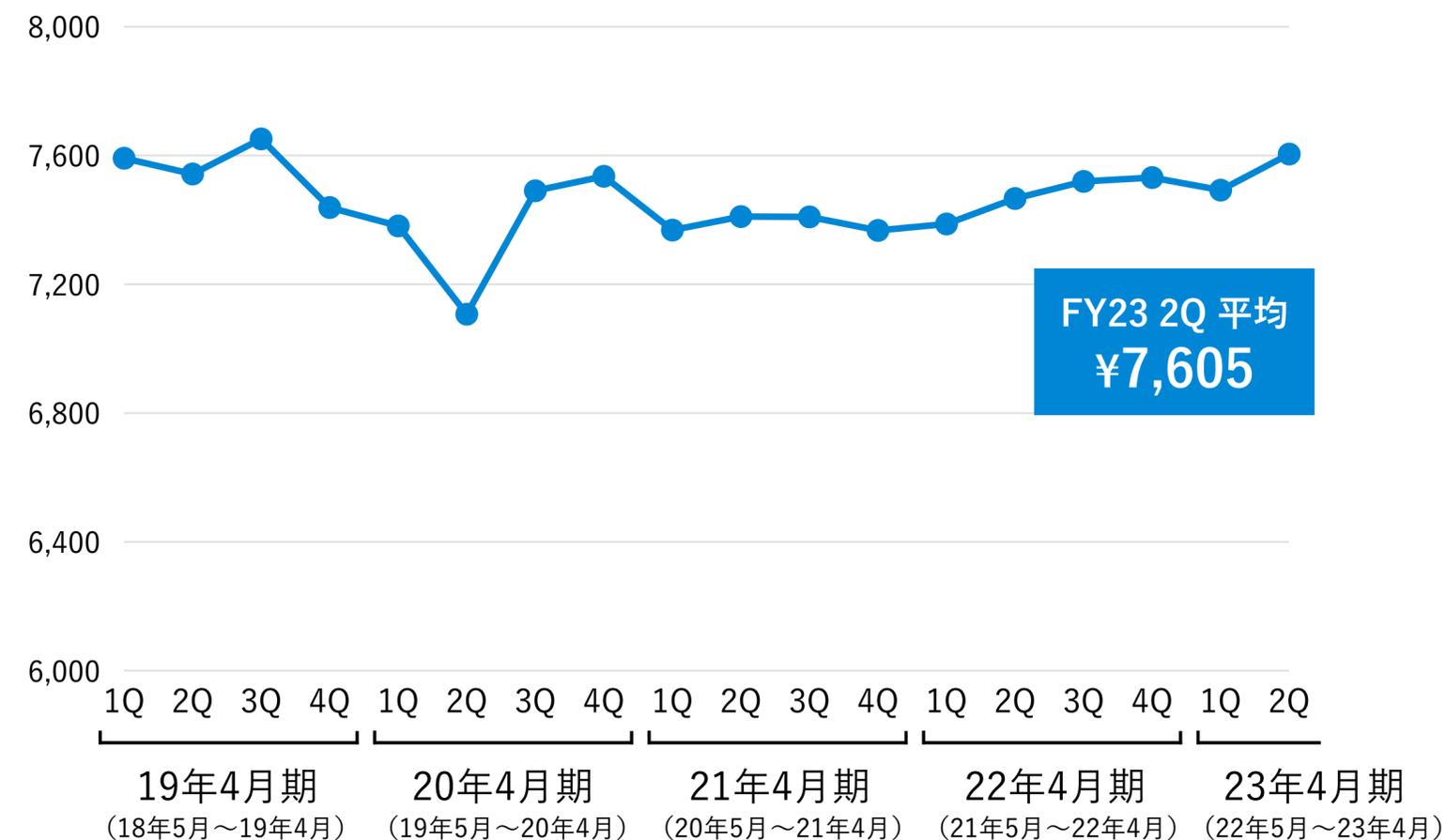
QoQ
前四半期比
↑ 27円



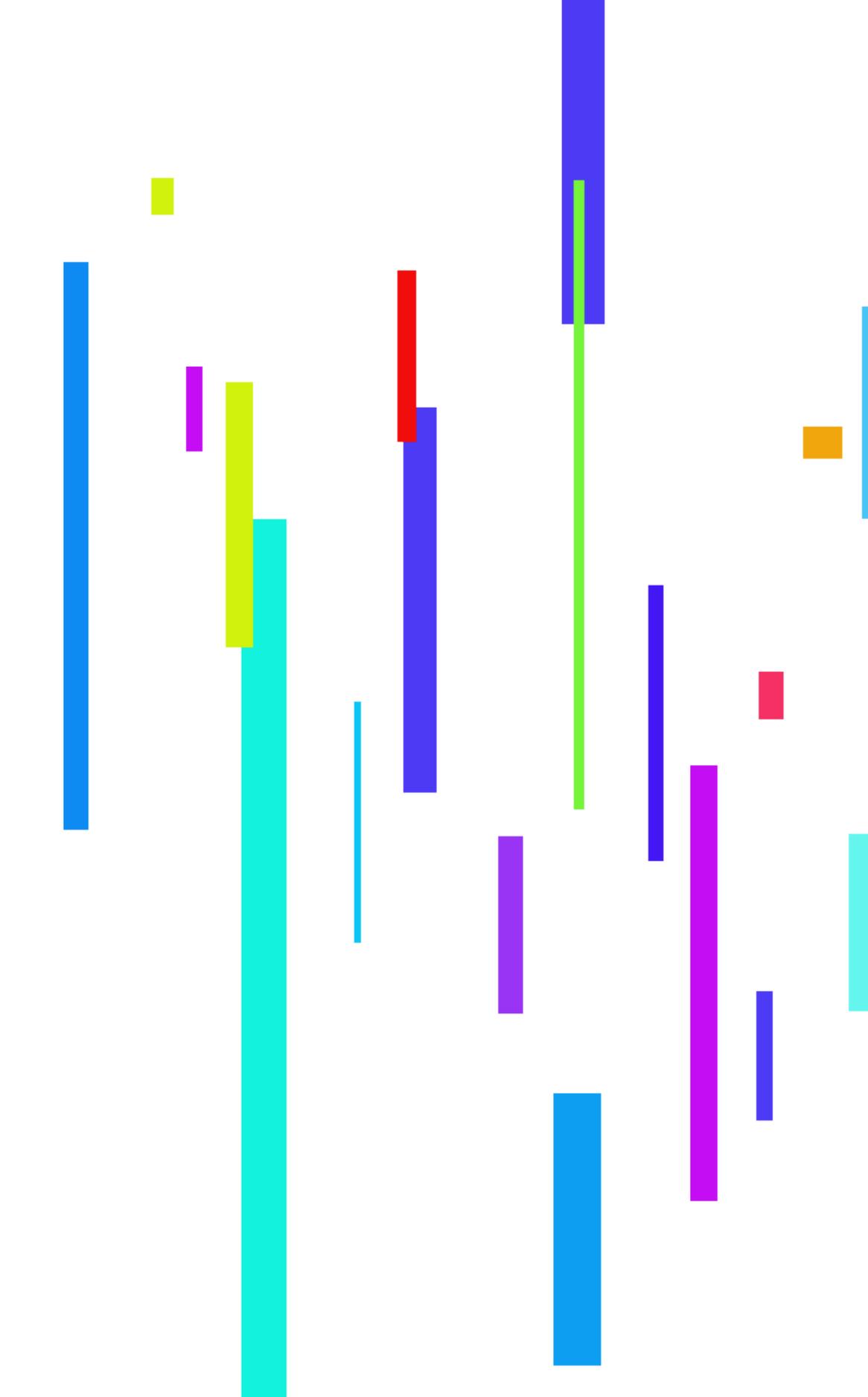
ARPU

YoY
前年同四半期比
↑ 138円

QoQ
前四半期比
↑ 112円



ARPA(Average Revenue Per Account) : 1契約ID (有料プラン契約のみ) あたりの顧客単価
 ARPU(Average Revenue Per User) : 1店舗 (有料プラン契約のみ) あたりの顧客単価
 タイムカード、アプリマーケット、決済サービスの売上は含まれておりません。



スマレジについて

Business Outline

スマレジ(POS)やスマレジ・タイムカード(HR)が主力のクラウドサービス事業を中心にベンチャー投資やIT人材発掘育成事業を行い、スマレジ経済圏の拡大を目指しています。

クラウドサービス

その他

スマレジ(POS)



売上分析や高度な在庫管理等、小売業や飲食・サービス業のDX化により、店舗経営の効率化とデータ経営を可能にするクラウドベースの新しいPOSレジシステムです。

決済サービス



クレジットカード決済、非接触型決済、バーコード決済など様々な決済手段に対応したマルチ決済サービスです。

タイムカード(HR)



給与計算、休暇管理、シフト管理、日報、プロジェクト管理、ワークフローなど、勤怠管理の枠を超えた、お店や企業に求められるHRサービスです。

EC

STORE STORE

店舗周辺機器の
オンラインストア

SES

SmaregiTechFarm

SESを通じた
ITクリエイティブ
人材発掘・育成事業

CVC

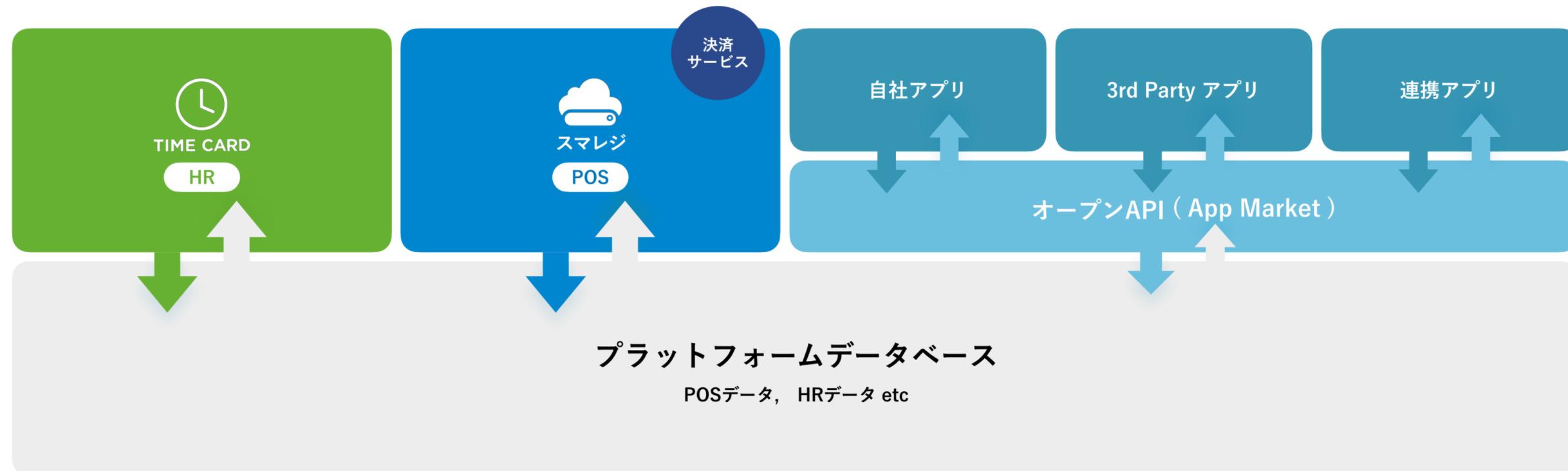
スマレジ Ventures

ベンチャー投資事業
及びスマレジ経済圏
の拡大事業

データを貯めて活用する時代へ。他社にはない豊富なAPI群を取り揃え、データに基づく店舗経営を支援

スマレジ・プラットフォーム

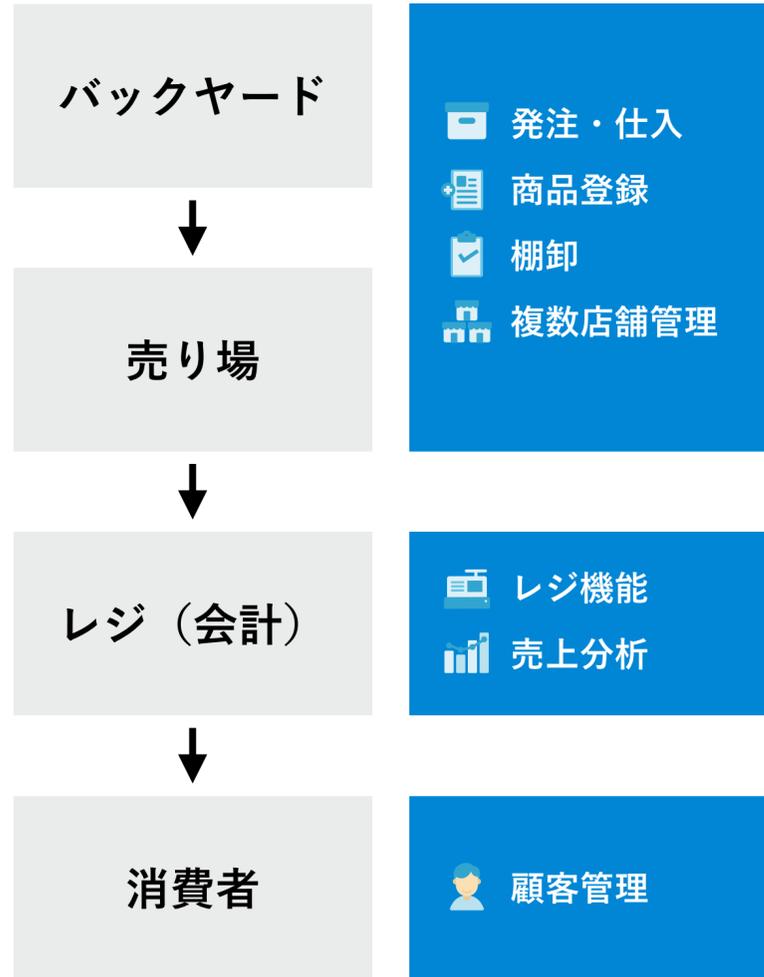
スマレジに蓄積される膨大なPOSデータやHRデータを中心としたプラットフォームを提供。
オープンAPI（App Market）により柔軟なデータのイン・アウトを実現。



スマレジ(POS)の特徴 - 圧倒的な高機能

基本機能は無料で提供。販売データで店舗経営を科学する高機能クラウド型POSレジ

小売店



飲食店



株式会社ショッパーズアイによる
インターネット調査 (2021年6月)



オープンAPI

大企業の
リプレイス需要
にも対応

会計や基幹システム等、
他社サービスとの連携が容易
他社CRMやERPなど連携実績多数

ユーザー中心設計

GOOD DESIGN

デザイン思考で
お店の課題を解決

優れた在庫管理

小売業に
強い理由

- ✓ 発注・仕入れ
- ✓ 店舗・倉庫移動管理
- ✓ 在庫変動履歴
- ✓ 棚卸

POSレジと連動した在庫管理で
最高のパフォーマンスを発揮

高度な売上分析

様々な種類の売上分析が
いつでもどこからでも確認可能

オムニチャネル

在庫や顧客情報の一元化

ネットとリアルの垣根を
取り払い接客の質を向上

カスタマーサクセス

解約率※
0.53%

サポート体制の充実による高い
顧客満足度が低い解約率を実現

アプリマーケット

必要な
機能が自由に
買える

様々な業種への多面的なアプロ
ーチと利便性の向上を実現

1店舗から大規模まで

規模に関わらず店舗のニーズに
対応。1店舗から多店舗まで幅
広いシェアを獲得

決済サービス連携

M&Aにより
決済システム
を取得

POSと決済の高い親和性
利便性と顧客単価の向上を実現

※MRRチャーン：スマレジの月間経常収益から算出される解約率 2022年5月～10月の平均



1店舗から600店舗以上を運営する事業者まで、幅広いお客さまにご利用いただいております。

小売店・アパレル



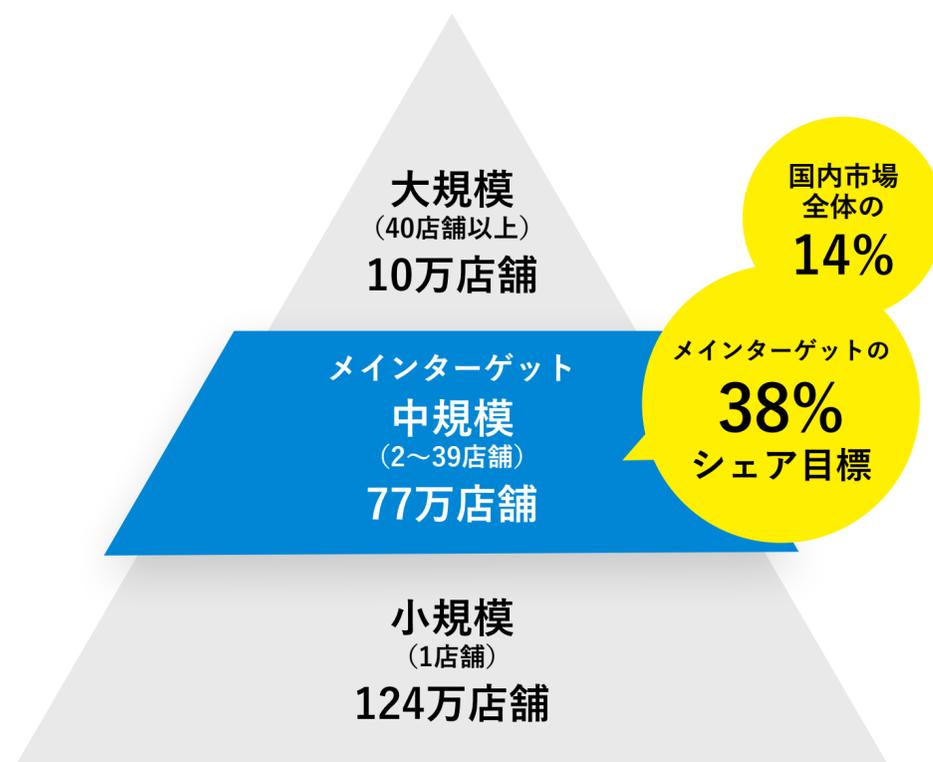
飲食店・その他



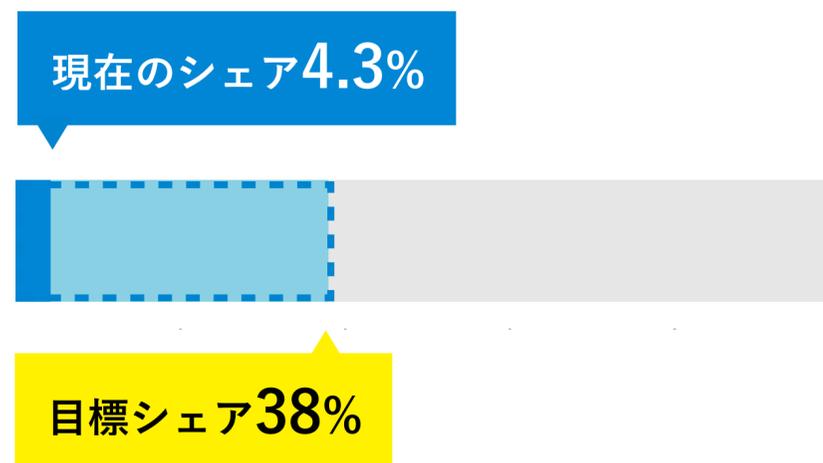
メインターゲットは77万店舗。目標シェアは38%

POSレジ市場は、1社独占によるスケールメリットが考えにくいので、**独占市場ではなく競争市場である**

メインターゲットの中規模層を中心に、大規模層（従来POSからの入替需要）から小規模層（App Market利用による課金）までターゲットを拡げ、ピラミッドの中心からシェア拡大を目指します。



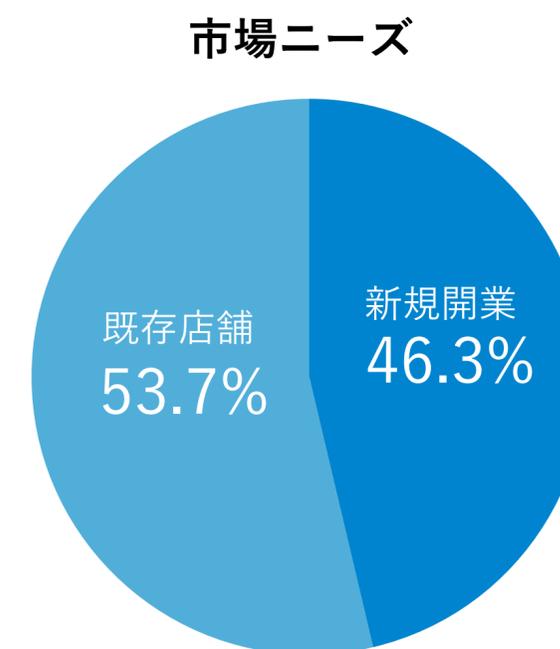
経済産業省・総務省「平成28年経済センサス」の調査結果を基に当社作成



(アクティブ店舗数 3.3万 ÷ メインターゲット 77万 = 4.3%)
※2022年10月末時点

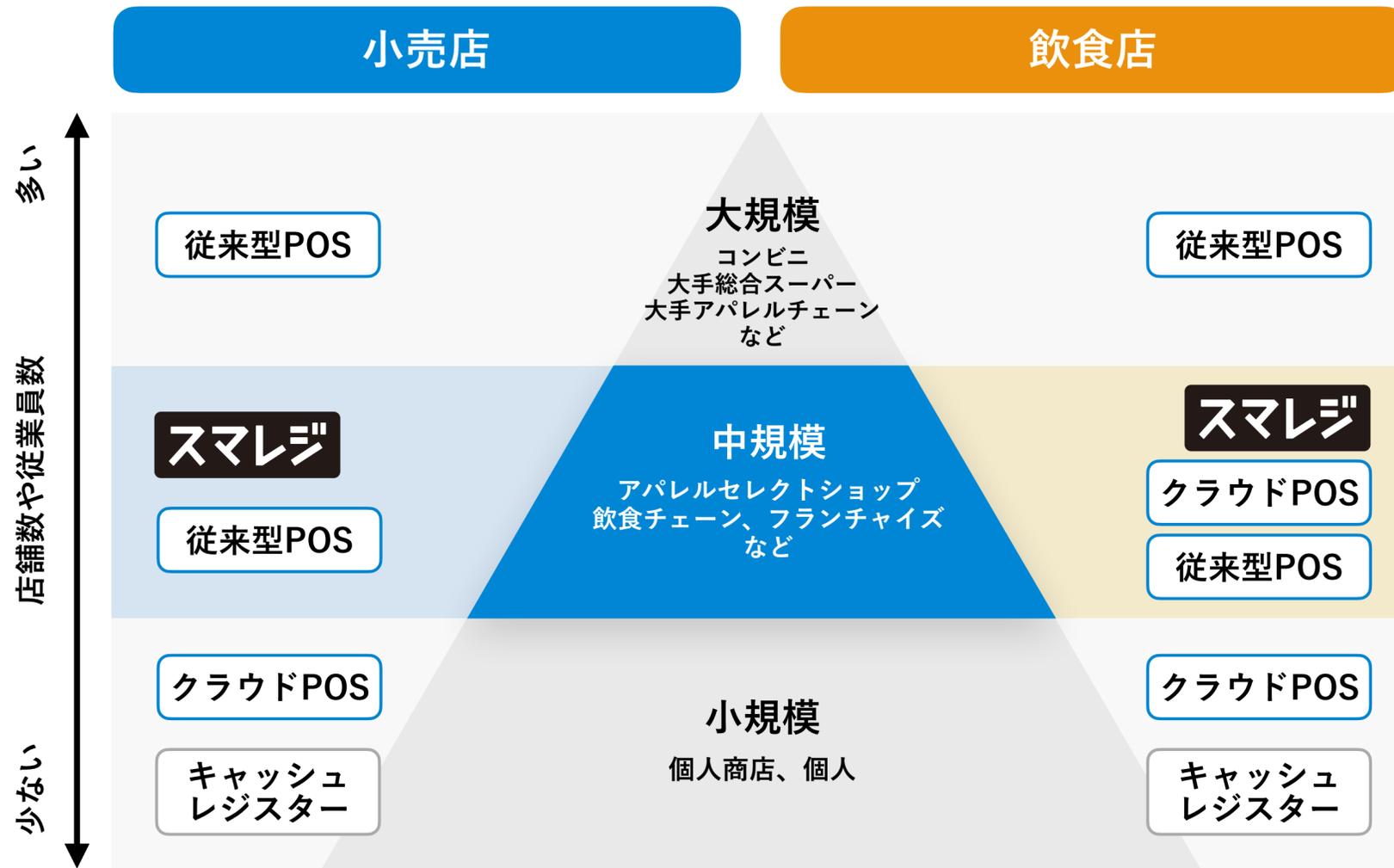
タッチポイントは新規開業と既存店リプレイス

市場ニーズは新規開業と既存レジのリプレイスがほぼ半数を占める（当社問い合わせデータから推測）。新規開業需要を軸にリプレイス需要にも狙いを定め、POSレジ市場全体におけるスマレジのシェア拡大を目指す。



※スマレジの問い合わせデータ (2022年5月～2022年10月) を基に算出

店舗規模、業種別製品分布 スマレジは小売業と中規模で強みを発揮



POSレジ市場の製品が従来型POSからクラウド型へ入れ替わっている。各業界内でも「クラウド化、DX化」の流れが加速し、在庫管理等の新しい市場を拓けながらクラウドPOSメーカー各社がシェアを競っている。

	 キャッシュレジスター	 従来型POS POS専用機	 クラウドPOS PC、タブレットPOS
機器の価格	○ 安価 1~10万円	✗ 高価 50~数百万円	○ 安価 10~15万円
維持費	△ 故障機器の入れ替え	✗ 故障機器の入れ替え アップデート費用別途	○ パーツ毎に買い替え アップデート費用なし
操作性	△ ボタンが多く 操作が煩雑	△ ボタンが多く 操作が煩雑	○ iOSアプリなので 操作が簡単
機能	✗ 単機能	○ 高機能	○ 高機能・拡張自由
サポート	✗ 基本なし	○ ヘルプデスク、 訪問サポートなど	○ ヘルプデスク、メールサポ ート、ヘルプサイトなど

直接的な事業シナジーのある企業を中心にM&Aを積極的に検討しています。
また、ITエンジニア獲得のためのアクハイアリングも併せて検討しています。

1

顧客数の獲得

顧客獲得のスピードアップ、
またはターゲット領域拡大の
ためのM&A

対象企業

クラウド系POSベンダー

2

顧客単価の向上 (ラインナップ充実)

スマレジを機能的に補完しうる
企業のM&A。クロスセル・
アップセルをねらう。

対象企業

スマレジと直接的なシナジーが望める
店舗向けソフトウェア保有企業

3

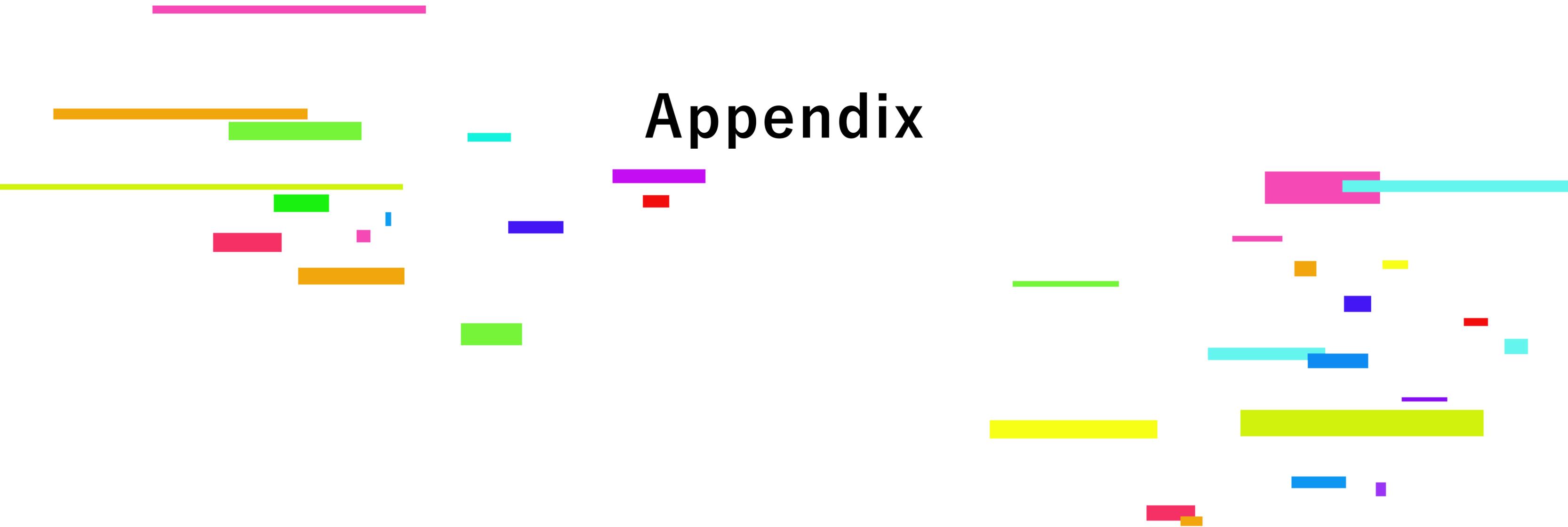
ITエンジニアの獲得

web系エンジニアを保有する
企業。プロダクトを保有して
いなくて構わない。

対象企業

システム開発会社、Sler、制作会社

Appendix





代表取締役

山本 博士 HIROSHI YAMAMOTO

2003年よりITエンジニアとして業務システム開発に従事。2011年クラウド型POSレジサービス「スマレジ」を立ち上げる。



取締役 プロダクト/CTO

宮崎 龍平 RYUHEI MIYAZAKI

2011年入社、「スマレジ」の立ち上げメンバーとして開発に参加の後、2014年「スマレジ・タイムカード」を立ち上げる。



社外取締役 ITベンチャー投資

浅田 慎二 SHINJI ASADA

伊藤忠商事、伊藤忠テクノロジーベンチャーズ、セールスフォース・ベンチャーズ 日本代表を経て、2020年One Capitalを創業。



執行役員 カスタマーサクセス/スマレジ・タイムカード担当

竹村 大 DAI TAKEMURA

2013年入社。オンボーディングからアフターサポートを担うカスタマーサクセス部門の立ち上げに従事。



監査役

大平 豊 YUTAKA OOHIRA

公認会計士、税理士。国家試験合格の1994年から会計専門職に従事。2017年、当社監査役に就任。



取締役副社長 事業統括/COO

湊 隆太郎 RYUTAROU MINATO

金融システムやPOSなど大規模開発に多く携わるITエンジニア。2011年クラウド型POSレジサービス「スマレジ」を開発。



取締役 経営企画・マーケティング/CSO

高間館 紘平 KOHEI TAKAMADATE

2007年（現）ジャフコ入社。ベンチャー投資、M&A、株式上場に携わった後、2013年セカイエ代表取締役社長を経てスマレジに参画。



執行役員 営業本部長

杉本 聡介 SOUSUKE SUGIMOTO

大手アパレル企業を経て2013年スマレジ入社。営業部門にて営業課長、営業部長を歴任。



常勤監査役

望月 拓也 TAKUYA MOCHIZUKI

2005年に現 顧問の徳田と共に有限会社ジェネフィックス・デザイン（現 株式会社スマレジ）を設立、取締役就任。2017年に常勤監査役に就任。



監査役

村田 雅幸 MASAYUKI MURATA

1991年より27年間、証券取引所に勤務。2018年PUBLIC GATE合同会社を設立、当社監査役に就任。

スマレジ誕生から10年。
次の10年に向け、さらなる成長にチャレンジします！

VISION 2031

2022/6/13 UPDATE

KPI

アクティブ店舗数30万店舗、国内市場シェア14%を目指す！

スマレジはアカウント数や登録店舗数を目標指標にせず、
実際に使われるレジを目指し、アクティブ店舗数を重要指標として設定しています。



<https://corp.smaregi.jp/ir/management/vision2031.php>

メールで受け取る



IRニュースレター

最新情報を、いち早くお届け！

<https://corp.smaregi.jp/ir/newsletter/>



LINEで受け取る



スマレジIR LINE

友だち追加はこちら！

<https://line.me/R/ti/p/%40314vncog>



コーポレートサイトでも最新情報を配信しています。ぜひご覧ください。

株式会社スマレジ コーポレートサイト

<https://corp.smaregi.jp/>

株式会社スマレジIR情報

<https://corp.smaregi.jp/ir/>

ディスクレイマー

本資料に記載されている事業計画、業績予測などの将来の見通しに関しては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき当社が合理的であると判断したものです。これら将来の見通しは、市況や政治・経済状況など様々な不確実性を含むものであり、実際の業績とは異なる場合があります。

本資料は、当社株式の購入や売却等の投資勧誘を目的とするものではありません。投資は、ご自身の判断のもと、ご自身の責任において行なっていただくようお願いいたします。



FY2023 2Q

2022.5~2022.10

第18期 第2四半期 決算説明資料

株式会社スマレジ